

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年7月11日

評価対象年度：平成19年度				管理	5-20-1-3	
事務事業名 市営住宅施設維持管理事業				部等名	産業建設部	
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	住宅施設維持管理事業	課等名	建設課
	一般	01-080501003	細々目名		係等名	建築係
政策体系	基本目標	5	安全・安心な環境のまちづくり			
	施策	20	住宅・住環境の整備			
	基本事業名	1	市営住宅の維持管理			

事業概要 実施内容	市営住宅の維持補修を行う。 老朽住宅の修繕 住宅環境維持のための草刈委託 白蟻駆除委託				
根拠法令等			事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 維持管理事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> その他事業	
			評価区分	<input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価	

重点事業区分	<input type="checkbox"/> 重点事業	事業実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 期間限定( 年度 ~ 年度 )			
決算額	1 報酬	円	11 消耗品費	76,861 円	15 工事請負費	6,160,137 円
	7 賃金	円	12 役務費		18 備品購入費	0 円
	8 報償費	円	13 委託料	1,284,150 円	19 負担金補助及び交付金	0 円
	9 旅費	円	14 使用料及び手数料	170,964 円	合計	7,692,112 円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象(誰を、何を)		市営住宅入居者の生活環境を整える。	
手段(事業の具体的な内容、手順等)	→	活動指標名・式(アウトプット) 活動の大きさを表す指標	
老朽住宅の雨漏り対策や白蟻による土台等の腐食を防止する。		指標(1) 名称 白蟻駆除実施率 式 実施戸数/管理戸数	
意図(対象を、どのような状態にしたいのか)	→	成果指標名・式(アウトカム) 意図の達成度を表す指標	
住宅に困窮する低所得者への良好な住環境を提供する		指標(1) 名称 白蟻駆除実施率 式 実施戸数/管理戸数	
事務事業を実施(意図を実現)することで、施策にどのように貢献していますか			
雨漏り対策等、計画的に実施することにより効率的な修繕が可能となり、修繕費が圧縮される。			

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度(実績)	年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込み)	24年度(最終目標)	
指標	活動指標(1)	%			77	82	100	
	活動指標(2)							
	成果指標(1)	%			82	90	100	
	成果指標(2)							
投入量	事業費	国・県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円			5,400	8,100	
		一般財源	千円					
	事業費計(A)	千円			5,400	8,100		
	人件費	職員数	人			0.89	0.89	
		人件費平均額(年)	千円			8,373	8,373	8,373
人件費計(B)		千円			7,452	7,452		
総事業費(A+B)	千円			12,852	15,552			

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか?
入居基準が引き下ると更に低所得者層が多くなる。
この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?
トイレの水洗化により生活環境の向上が望まれる。

2. 事務事業の評価 (Check)

[ 目的妥当性評価 ]		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】
本事業は、効率的な維持管理を行うことにより財政健全化に貢献する。	公営住宅法に基づく入居基準等の審査が必要であるため、他団体では公平性が維持できない。	事業内容を公表するするため、対象・意図は妥当である。
[ 有効性評価 ]		
成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
目標を持って計画的に実施できるため成果が得られる。	施設の維持管理は、エンドレスなので事業の中止・廃止はあり得ない。	類似事業はない。
[ 効率性評価 ]		[ 公平性評価 ]
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】
老朽化が進み修繕費が増える。	入居退去及び修繕で業務量が増えているので削減の余地なし。	利便性やトイレの水洗化が完了している団地との料金格差見直しの検討。

3. 評価結果の総括と今後の方向性

<b>(1) 1次評価者としての評価結果</b> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<b>(2) 全体総括 (振り返り、反省点)</b> 目的どおりの維持管理ができ、目標どおりの評価ができるように現在の方向性を維持。																					
<b>(3) 今後の事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善しない)	<b>(5) 改革・改善による期待成果</b> 廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<b>(4) 改革改善案の概要</b> ランダムな維持管理ではなく、目標を明確にした。																						
<b>(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策</b> 計画どおりの事業が遂行ができれば、2年目以降準備に係る時間が短縮される。																						

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

<b>(1) 2次評価者としての評価結果</b> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<b>(2) 評価結果の根拠と理由</b>																					
<b>(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案)</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善しない)	<b>(4) 改革・改善による期待成果</b> 廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<b>(5) その他、2次評価会議で指摘された事項</b>																						